

## 令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県北会場

#### 科目 ①放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容

- ◆ 放課後児童クラブは市町村条例の中で運営されているが、国が最低基準を定めるなどしっかりとした基盤があると知って安心した。認定資格は支援員の質を向上または一定水準に保つために大切な資格だと知った。またこの研修を受講することで共通認識を得られるのはとても重要なことだと思った。設備運営基準は概ね知っていたが、改めて学ぶことができて良かった。秋田県でも利用児童が増えてきているので、支援員という仕事をたくさんの人に知ってもらい、働く人がもっと増えたら良いなと思った。
- ◆ 放課後児童クラブは、小学校に就学している留守家庭の児童等に、学習ではなく遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る場所であることを学びました。また、市町村は、その区域内において、着実に実施されるように、設備及び運営について、条例で基準を定め、事業者はこれを遵守しなければならないことを知りました。こども家庭庁は全国の放課後児童クラブの質の向上を目標に、認定資格研修を行っていることも理解しました。
- ◆ 様々な法令や省令の中でこの放課後児童健全育成事業が成り立っていることが分かった。平成27年の新制度への移行から10年が経過した。核家族の増加や留守家庭の増加の中で、放課後児童健全育成事業の重要性が年々高まってきている。今後も放課後児童クラブの必要性は高まっていくと予想され、支援員の役割も多岐にわたっていくと思う。法令改正等の情報にも目を向けていきたい。
- ◆ 少子化でも登録児童数が増加傾向にあるということに驚いた。また、受け入れられる学年が地域により異なり、一年生から三年生までのところもあるとのこと。地区によっては様々な問題を抱えながら運営しているところも多々あると思う。待機児童を減らすことも大事だと思うが、設定の段階で、ご家庭との密な関係を築きつつ、万が一の対応も含めて考えていかなければならないと感じた。
- ◆ 少子化が進む中でも放課後児童クラブの利用者数が増加していることや、それに伴い支援員や補助員の需要が増加しているにも関わらず、支援員の資格がまだあまり広く一般的に知られていない事も知りました。また、放課後児童クラブの主な目的が勉強よりも遊びや生活の場であることを聞き、今後、クラブで児童を指導するにあたり、遊びと学習のバランスの取り方に注意していきたいと思いました。